



林野庁 北海道森林管理局 根釧東部森林管理署

チュプカの森から

※ チュプカ (cup-ka) とは、アイヌ語で「日の出る方角」「東」という意味です。

多様な森林づくりの現地検討会を行いました

北海道森林管理局では、平成30年度より、**天然力を活用した多様な森林づくり**に取り組んでいます。根釧東部森林管理署でも、7月15日（水）、伐期を迎えるトドマツ林の林分で、職員による**現地検討会**を開きました。

検討会では、4つの班に分かれ、午前中、班ごとに林内を踏査して、造林木の成長具合や、広葉樹の入り具合等を把握しました。そして、**現況林分の評価**を行った上で、**今後、どのような施業を行うべきか**を検討しました。

午後、各班の考えを発表しあい、局の調査官から講評してもらいました。伐期を延長して間伐を主張する班もあれば、広葉樹が多い区域を残した上での皆伐を主張する班もありました。

今後も職員間で議論を重ね、伐採作業等を行う事業者の意見も踏まえながら、多様な森林づくりの取組を進めていきます。



林内での検討



生育しているダケカンバ
(葉はイタヤカエデかな?)



切り下げた鋼製ダム



バーナーで切断

知床オッカバケ川の治山ダム改修を行っています

知床世界自然遺産では、国際自然保護連合 (IUCN) より、**サケ類の遡上が可能な河川**が求められています。根釧東部森林管理署では、羅臼町内の**オッカバケ川**で、有識者の指導の下、2基ある鋼製ダムのうち、上流側のダムを3年前より切り下げています。自然環境に配慮して、**鋼材をバーナーで切断して、人力で運び出す**という特殊な作業を行っています。

上流側のダムの切下げは今年度で終了。今後、河床状況をモニタリングしながら、下流側のダムをどうするか検討していきます。

根釧東部森林管理署の体制を紹介します

根釧東部森林管理署は、標津町に所在する本署と、8つの森林事務所から成ります。本署は、**署長・次長**の下、総務グループ、業務グループ、治山グループに分かれています。

総務グループは、総務、経理の仕事のほか、土地の管理を行っています。**業務グループ**は、管理経営計画の策定、森林の育成、森林資源の活用、林道の管理など、幅広い業務を行っています。**治山グループ**は、災害防止のための治山施設の整備や、保安林の管理を行っています。ほかに**森林技術指導官**がおり、民有林との連携や、シマフクロウ保護、エゾシカ被害対策などに携わっています。



〒086-1652 北海道標津郡標津町南2条西2丁目1番16号
TEL 0153-82-2202 (代表) FAX 0153-82-2284

